

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DE437／コミュニケーション政策論 (Information and Communications)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	変容を続ける情報通信(ICT)産業の現在、過去、未来の俯瞰 Past, current and future outlook of transforming ICT industry		
担当者名 (Instructor)	神野 新(KAMINO ARATA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3110	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	変則日程による開講 詳細な日程については「その他(HP等)」欄を確認すること		

授業の目標(Course Objectives)

本講義の目標は、情報通信(ICT)産業が垂直統合から水平統合の構造へと変化し、その結果として、ネットワーク、プラットフォーム、コンテンツ・アプリケーションを縦断する多彩な融合サービス(例:ビデオストリーミング、シェアリング・サービス)が発生しているメカニズムを理解することにある。そして、そのような環境における、事業者、消費者行動と関連する政策・規制について学ぶ。分析の視点は経済学、経営学、法学、政治学など学際的なアプローチに基づく。

Objective of this course is to understand transition from the vertical integration to horizontal integration structure inside ICT industry and the mechanism of various converged services (e.g. video streaming, sharing services) which bridge network, platform and content/application having been emerging as a result of such transition. Also, we learn behavior of providers and consumers and related regulations in such circumstances. Perspective of the analysis is based on interdisciplinary approach such as economics, business administration, law and politics.

授業の内容(Course Contents)

本講義では、5G、IoT、ビッグデータ、AIなどの技術進歩を背景に急速に変容する情報通信(ICT)産業について、グローバルな視点からその特性やビジネスモデルの現状について解説する。そして、伝統的なネットワーク事業者(電気通信)やメディア(新聞、雑誌、放送など)が、プラットフォーム事業者(GAFAなど)との間で同時進行的に展開している「競争と連携」の関係を整理し、それらの融合サービスの実態と規制論争を説明する。さらに、地域情報発信(「メディア・ローカリズム」)の重要性を情報の経済学に基づき分析し、ICTが地方創生や社会的課題解決に果たす役割を考察する。

This course explains the feature and current business model of ICT industry which is transforming its shape very rapidly reflecting technological progress such as 5G, IoT, big data and AI from the global perspective. This course also summarizes competitive and cooperative relationship simultaneously occurring between traditional network providers (telecommunications)/media (e.g. newspaper, magazine and television) and platformers (e.g. GAFA). Also, the course explains present status and regulatory discussion concerning their converged services. Furthermore, we analyze the importance of “media localism” based on the economics of information and consider the role of ICT to assist local revitalization and solve social issues.

授業計画(Course Schedule)

1. 講義の概要と進め方
2. 情報通信(ICT)産業の定義と分類
3. ICT産業の構造の分析アプローチ(創造の方法学)
4. ネットワーク事業者(固定・モバイル通信、ケーブルテレビ、放送)のビジネスモデル
5. プラットフォーマー(GAFA)のビジネスモデル
6. ICT産業の競争と連携
7. ICT融合サービスの現状ーネットワークとプラットフォームが生み出すもの
8. ICT融合サービスの規制論争
9. プラットフォーマー(GAFA)の規制論争
10. プラットフォーマー(GAFA)とメディア(新聞、雑誌、放送)の関係分析
11. 情報の経済学とメディア・ローカリズムー衰退する地域メディアの救済策
12. ユニバーサルサービス概念とメディア・ローカリズム
13. ICTが社会的課題解決に果たす役割ースマートシティの現状と課題
14. レポート作成のポイントと質疑

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

経済紙のみならず、一般の新聞においても、情報通信に関連する記事が日に日に増えている。それらの中で特に読むべきものを講義で紹介する。講義後に読み込んで十分に理解し、次回以降の講義に臨むことを期待している。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(35%)/授業への参加度(65%)

テキスト(Textbooks)

毎回、最新動向を盛り込んだオリジナルの講義スライドを事前配布(アップロード)する。

参考文献(Readings)

1. 総務省、2020、『情報通信白書(無料ダウンロード可)』、総務省
2. 脇浜紀子・菅谷実編、2019、『メディア・ローカリズム:地域ニュース・地域情報をどう支えるのか』、中央経済社 (ISBN:4502319317)
3. 湯浅正敏編著、2020、『メディア産業論:デジタル変革期のイノベーションとどう向き合うのか』、ミネルヴァ書房 (ISBN:978-4-623-08868-3)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

本科目は土曜日の3限~4限に実施する2限連続開講科目である。授業は下記の日程で実施する。

- ① 9月24日(土) ② 10月1日(土) ③ 10月8日(土) ④ 10月15日(土) ⑤ 10月29日(土) ⑥ 11月12日(土) ⑦ 12月3日(土)

注意事項(Notice)